

評価会議（令和元年度期末）における委員の評価及び意見

受託者等に対する評価

1 項目ごと評価

評価項目		A委員	B委員	C委員	
支援の内容および効果等	協議会の取組（イメージ） 自律的運営に向けた地域活動	(1)「地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等（配点5点）	3	3	4
		(2)「つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等（配点5点）	3	3	3
		(3)「組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等（配点5点）	3	2	3
	事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の状況（実績）及び効果等（配点5点）	—	—	—
		(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等（配点5点）	3	3	4
		(2-2)フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等（配点5点）	3	3	4
		(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等（配点5点）	3	3	3
支援策（取組） 今年度の重点	区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援状況（実績）及び効果等（配点5点）	3	3	3	

(※)事業者等において、取組の提案等の記載がなかった項目については、委員評価の対象外のため「—」となっています。

主な意見等

- ・補助金（正確には交付金ないし委託費だと思う）制度をうまく活用して地域の状況を変えて欲しい。
- ・防災に力を入れる際も、地域の力を引き出す支援の在り方の検討を。これまでの経緯を発展的に乗り越えて、地域の力をどのように引き出していくかという視点での分析が必要
- ・区の意向と受託団体との間に少し齟齬が無いか懸念された。また、地活協の構成団体がほとんど登録されていないこと、ホームページ・ブログ・フェイスブック・ツイッターの広報ツールについても、各地活協とも取組みが進んでいないことは、今後の急務の課題だと考える。
- ・地域において、「老人憩いの家」の運営が効果的であったことは、活動場所を求めている若い世代の参入の糸口にもなると推測する。ピンチをチャンスと捉え、「大正区モデル」ができるような、総合的な中間支援に期待する。

(採点基準)

- 5点：期待レベルをはるかに上回っている。
- 4点：期待レベルを上回っている。
- 3点：概ね期待レベルに達している。
- 2点：期待レベルを下回っている。
- 1点：期待レベルに全く達していない。